医療法人陽心会プレゼンツ

ヘルシーセッション

安全で安心に生活できる仕組み作りを通して沖縄に貢献したい。（河村）
検査数の増加に合わせて検体の処理数を上げる態勢を整えています。（小林）

新型コロナウイルス感染症が県内でも広がりを見せています。今回は、県内における検査数を増やそうと日々奮闘するお二人のセッションをお届けします。

河村 哲（かわむら てつ）　レキオ・パワー・テクノロジー株式会社代表取締役/CEO

×

小林 信之（こばやし のぶゆき）　株式会社AVSS代表取締役/CEO

沖縄に感染症研究の拠点

河村 私が2011年に立ち上げたレキオ・パワー・テクノロジーは現在、一般の人向けに超音波エコーの製造・販売を中心とした事業を展開しています。医療従事者ではなくても、エコーを使うといろんなことができるんですよ。小林先生が代表を務める株式会社AVSS（エーヴィス）とも今後さまざまな連携を図っていくことになると思いますが、まずは貴社の事業概要についてお話しいただけますか。

小林 AVSSは2006年に長崎大学発のバイオベンチャーとして起業しました。私個人は1976年からずっとウイルスの研究をしており、アメリカ留学から帰国後は京都大学、山口大学を経て〇〇年に長崎大学に赴任しました。最近は大学の研究成果を世の中に還元しようという流れになっていますので、それなら研究の応用面はベンチャーとして大学の外に作りましょうと。それで感染症治療薬の開発や感染症に対する知識の普及等を目的に設立したわけです。

河村 長崎大学には海外にも研究拠点を持つ熱帯医学研究所があり、小林先生をはじめ多くの研究者が途上国の感染症に積極的に取り組んでいらっしゃいます。私がかつてアフリカにおける医療プロジェクトに関わっていた時にも、いろいろとお世話になりました。

小林 弊社と沖縄の関わりでいうと、2011年に経済産業省から「沖縄で感染症に関するシンポジウムを開くから出席してくれないか」とお声掛けをいただき、その年の6月に沖縄でいろいろとプレゼンを行いました。するとその後、沖縄県から「感染症に関わる企業をサポートする助成金交付の制度がある」という話を聞いたので応募したら採択されまして。その時に初めて知ったのが、助成金交付のただ一つの条件が「研究は沖縄でやること」でした。悩みましたが、結局うるま市州崎に研究所を設けてそこで事業を行っています。現在はデング熱の検査キットを途上国でも使えるように、非常に安価で精度の高い製品を製造するための工場を来年の稼働に向けて準備しているところです。その矢先に出てきたのが、今回の新型コロナウイルス感染症の問題です。

検査数を増やして院内感染を防ぐ

河村 新型コロナウイルス感染症は、沖縄でも今後さらに感染が拡がっていきそうな勢いです。貴社は通常業務とは異なる非常時の態勢で取り組まれていますね。

小林 ここまで蔓延するとは思ってもみませんでしたね。国から検査試薬を作ってほしいという要望を受けましたので2週間程度でそれを作り、今は承認をもらうところまで来ています。また、検査を行っている県の衛生環境研究所では1日あたり十数件しか実施できないという話を聞きました。それで県庁を訪問して弊社の検査態勢を説明し「ぜひ検査をお願いします」との返事をいただいていますので、今はヘルプという形で検査をスタートさせています。県の検査現場は休みもなく疲弊しています。私たちも少しずつ応援に入っていますが、絶対的な検査数が不足しています。検査数を増やす仕組みができるのなら、私たちはそれに合わせて検体の処理数を上げる態勢も整えています。現在のやり方だと感染の疑いがあるだけでは検査ができませんので、結果的に院内感染のリスクも非常に高まります。〝怪しい〟人までチェックできるような態勢を確立しなければいけません。しかし基本的に弊社は検査を実施する事業所であり、そこに至るまでの仕組み作りができません。そこで河村さんには沖縄でどんどん検査が実施されるための仕組み作りをしてほしいと思っています。

河村 検査態勢が構築されることで貴社の持つ技術が活かされます。弊社の持つノウハウはその態勢づくりに発揮できるのではないかと考えています。離島県である沖縄は水際対策が上手く出来れば、その後の検査態勢の構築は他府県と比較すると難しくはないと思います。検査対象を広げると医療崩壊につながるという話もありますが、まずは検査をしっかり実施して陽性になった人たちをレベルに応じて振り分ける。重症者は軽症者の中から出てきますので、例えば行政の指定するホテルに入ってもらった軽症者をきちんとウォッチしながら、重症化した時点で病院に移動してもらう。沖縄は医療機関の数が住民に対してそんなに少ないわけではありませんので、県内で十分に対応できると思います。それができれば医療崩壊は防げるものと考えています。

小林 日本は諸外国と比較して圧倒的に検査数が少ないですよね。これだけ感染者が増えると、この勢いを止めるのは現状では非常に難しい。やはり検査数を増やすことが大切です。病院内で感染のクラスターが発生すると、その病院の機能自体がストップします。私たちは検査態勢に自信を持っていますので、一日も早くできるだけ数多く検査をしましょうということです。

沖縄のことは沖縄の中で解決する

河村 検査数を増やすと、健康保険の適用問題がでてきます。

小林 そうですね。現在の行政の枠組みから外れた検査は必ずしも健康保険は適用されません。沖縄県が独自の判断で保険適用のゴーサインを出してくれれば、検査数が増えることは間違いありません。また、韓国で実施されたドライブスルー方式の検査はかなり効果的です。病院内で行うわけではないので、外来の患者さんと感染の疑いのある方をちゃんと分けることができます。ぜひこの決断も急いでほしいですね。そのあたりの交通整理も河村さんに期待するところです。

河村 私は今回の感染症に関して先ほども話しましたが、海に囲まれている沖縄だからできる安全対策があると思います。その仕組みが上手く出来れば「安全だから沖縄に住みたい」という人も増えるでしょう。私は2011年の東日本大震災を体験してつくづく思ったのですが、東京のような大都市は、物流だけでみんなが生活しています。一方で地方都市というのは、普段は快適でも何かあった時のリスクが高い都会とは違います。安全・安心な生活を送ることが出来る地方都市が増えることで、結果的に一極集中の問題も解決できます。私はこれからもずっと沖縄で生活をしていきたいと思っていますので、そういう仕組み作りで沖縄に貢献できたらいいなと思っています。感染症の専門家として、小林先生は沖縄をどのように捉えていますか。

小林 私たちは普段あまり感染症について考えることはありませんが、世界に目を向けると死亡原因のほぼ半数が感染症によるものです。そういう意味においては、東南アジアの玄関口である沖縄は世界に貢献できる地域でもあります。しかしながら現在、沖縄は自立しているとはとても言えません。沖縄のことは沖縄の中で解決できるようになってほしい。例えば今回の検査態勢でいうと、私たちの持っている技術はいくらでも提供します。技術やノウハウはいくらでも持ち出せるんですよ。今は大変厳しい時期にありますが、これを機会に県民が結束して外に向かって自立できるようになるといいと思います。

医療法人 陽心会グループ

医療法人 陽心会　社会福祉法人 陽風会
理事長 高良 健

大道中央病院
那覇市安里1-1-37　TEL.098-869-0005(代)
リハビリテーション部門　TEL.098-869-0050
メディカルプラザ大道中央
那覇市字大道123　TEL.098-886-0007(代)
一般内科部門　TEL.098-886-0115
循環器部門　TEL.098-886-5141
糖尿病部門　TEL.098-886-0115
人工透析部門　TEL.098-886-5151
検診部門　TEL.098-886-5678
介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57　TEL.098-869-0030
グループホーム たかまーみの家
那覇市字大道94-3　TEL.098-887-0081
小規模多機能型ホーム 大道
那覇市字大道94-3　TEL.098-885-0018
グループホーム 大道が丘
那覇市字大道94-3　TEL.098-885-0036
小規模多機能型ホーム 三原
那覇市三原2-8-10　TEL.098-840-0027
訪問看護ステーション 陽心会
那覇市安里64-9-1F　TEL.098-860-1270
那覇市地域包括支援センター 若狭
那覇市若狭2-1-10　TEL.098-863-1165
那覇市地域包括支援センター 新都心
那覇市銘苅1-6-15　TEL.098-941-2252
〈訪問介護事業所〉
那覇市字大道128　TEL.098-885-0033
ケアハウス 常夏の島
那覇市牧志3-8-10　TEL.098-951-0036
小規模多機能型ホーム 牧志
那覇市牧志3-8-10　TEL.098-951-0025
有料老人ホーム 星の館
那覇市安里1-1-17　TEL.098-917-1262
特別養護老人ホーム 前島
那覇市前島2-18-17　TEL.098-894-8039
那覇市末吉老人福祉センター
那覇市首里末吉町2-14　TEL.098-886-3510
那覇市壷川老人福祉センター
那覇市壷川2-3-11　TEL.098-853-1139
那覇市辻老人憩の家
那覇市辻2-14-1　TEL.098-864-0580
有料老人ホーム 三原の家
那覇市三原1-26-40　TEL.098-832-5981
有料老人ホーム 牧志
那覇市牧志2-9-43　TEL.098-862-1331
有料老人ホーム 西町
那覇市西1-20-19　TEL.098-863-7884
デイサービスセンター リバーサイド
那覇市安里1-1-18-3F　TEL.098-862-1501

有限会社ヘルスサポート
取締役 高良 まき子

有料老人ホーム 健寿の杜
那覇市安里3-1-47　TEL.098-941-0070
有料老人ホーム 松風邸
那覇市辻2-10-14　TEL.098-869-8557
ヒルズガーデン那覇
那覇市字松川20-1　TEL.098-885-0300
デイサービスセンター 松川
那覇市字松川20-1　TEL.098-885-0300
デイサービスセンター 若狭海岸
那覇市若狭1-21-1　TEL.098-941-0110
デイサービスセンター 大道
那覇市字大道127　TEL.098-886-0066
有料老人ホーム 大道中央
那覇市字大道127　TEL.098-886-0061
デイサービスセンター 若狭
那覇市若狭3-5-17　TEL.098-869-6122
有料老人ホーム 若狭
那覇市若狭3-5-17　TEL.098-869-0087
有料老人ホーム 若狭別館
那覇市若狭2-5-12　TEL.098-863-3320
小規模多機能型ホーム 若狭
那覇市若狭3-4-10　TEL.098-951-0550
グループホーム 若狭の家
那覇市若狭3-4-10　TEL.098-951-0551
在宅総合ケアセンター 大道
那覇市安里381-1　TEL.098-885-0030
那覇市地域包括支援センター かなぐすく
那覇市鏡原町1-68　TEL.098-852-0777
福祉用具貸与・販売事業所
那覇市字大道128　TEL.098-885-0100